

令和7年度 静岡県歯科医師会学術大会

(会場参加型&Zoomウェビナー)

◆講演1 細菌学的思考で解決に導く歯内療法 of 臨床

講師 阿部 修 先生 (平和歯科医院 院長 : 東京都開業)

◆講演2 歯科臨床及び経営におけるデジタルの活用

講師 丸尾勝一郎 先生 (恵比寿マルオ歯科 院長 : 東京都開業)

◆日時 令和7年5月25日 (日) 13時00分~16時35分 (終了予定)

◆会場 静岡県歯科医師会館5F「501大会議室」 (静岡市駿河区曲金3-3-10)

◆対象 会員歯科医師及びそのスタッフ、歯科衛生士、歯科技工士 等

◆定員 60名 (会場)

◆申込締切 令和7年5月22日 (木)

※講演要旨については裏面をご覧ください

【申込方法】

- ①静岡県歯科医師会ホームページ (<https://s8020.or.jp/>) へアクセス
- ②静岡県歯科医師会学術大会へのお申込みについて をクリック
- ③会場受講申込はこちら または WEB受講はこちら をクリックし、必要事項を入力して送信
- ④県歯科医師会会員はLINE公式アカウントのメニュー「研修会申込み」からも申し込み可能です。

※右記QRコードを読み取ると
静岡県歯科医師会ホームページにアクセスできます。



【WEB受講に関して】

Zoomウェビナー登録完了後、下記①、②いずれかの方法で受講できます。

- ①登録完了後に届く確認メールに記載の [ここをクリックして参加](#) をクリック
- ②受講日前日に届くリマインダーメールに記載の [ウェビナーに参加](#) または URL をクリック

※登録後、①の確認メールが届かない場合は、正しく申し込みができていない可能性がありますので、メールアドレスをご確認の上、再度お申込みください。また、迷惑メールに分類されている可能性もありますのでご注意ください。

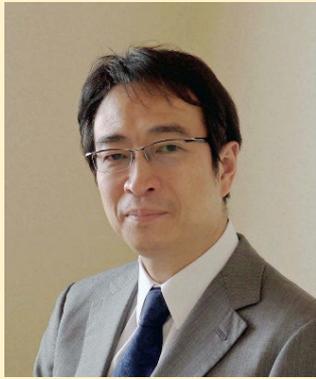
※本学術大会に関する資料等は、②のリマインダーメールより閲覧可能とする予定です。

主催 一般社団法人 静岡県歯科医師会

お問合せ TEL : 054-283-2591 Email : shogai@s8020.or.jp

令和7年度 静岡県歯科医師会学術大会 講演要旨

講演1 細菌学的思考で解決に導く歯内療法 of 臨床



講師 **阿部 修** 先生 (平和歯科医院 院長: 東京都開業)

近年、NiTiロータリーファイルやバイオセラミックス系材料が著しく進化し、同時にマイクロスコープやCBCTの普及も一段と進んでおり、歯内療法を取り巻く環境は劇的に変化しています。また、世界中の研究機関から「どの薬剤が細菌に有効であるのか」、「どのNiTiファイルが破折しにくいのか」等の研究報告が次々と公開され、最新情報はネットを通じて容易に手に入れることができる時代になりました。

しかしながら、そのような新しい機材や情報を応用することにより、私たちの歯内療法の質は本当に向上しているのでしょうか。歯内療法は見えにくい根管で行われる繊細な処置の連続であり、さらに根管に残存するバイオフィームは見えないものも多いため、自分が頭の中でイメージして行っている処置と、実際に行われたその状態が異なっている可能性があります。これまで行ってきた手技で、根管清掃をはじめとする基本処置がどこまで達成されているのか、このような点を検証する必要があると考えています。本講演では、歯内感染をバイオフィーム感染として捉え、問題解決のために何が出来るのかを様々な症例を通して検証します。歯内療法の質を高めるための「細菌学的思考」について、一緒に考えていただければ幸いです。

講演2 歯科臨床及び経営におけるデジタルの活用



講師 **丸尾勝一郎** 先生 (恵比寿マルオ歯科 院長: 東京都開業)

近年の歯科界におけるデジタル化の進展は目覚ましく、特に口腔内スキャナの導入がクリニック運営に革命をもたらしています。この技術は、従来の物理的な印象材を用いた方法と比較して、患者の不快感を著しく減少させ、印象の精度を高めます。この結果、歯冠修復、インプラント、アライナー矯正などの各治療においても、より密接なフィットと高い再現性が可能となり、治療の質を向上させるとともに、

材料コストや作業時間の削減にも寄与しています。さらに、デジタル化はクリニックの経営面においても重要な役割を果たしています。デジタルツールの利用により、治療計画の精度が向上し、患者とのコミュニケーションもスムーズに行えるようになります。これにより、患者満足度の向上とリピート率の増加が期待でき、クリニック収益の向上に貢献します。本講演では、日本が直面する超高齢化社会や人口減少の課題に対し、臨床および経営の各面でデジタル技術をどのように活用していくべきか、具体的な戦略と実践例をもとに提案します。これからの歯科医療においてデジタル技術は必須の要素となり、その効果的な導入がクリニックの未来を左右することでしょう。